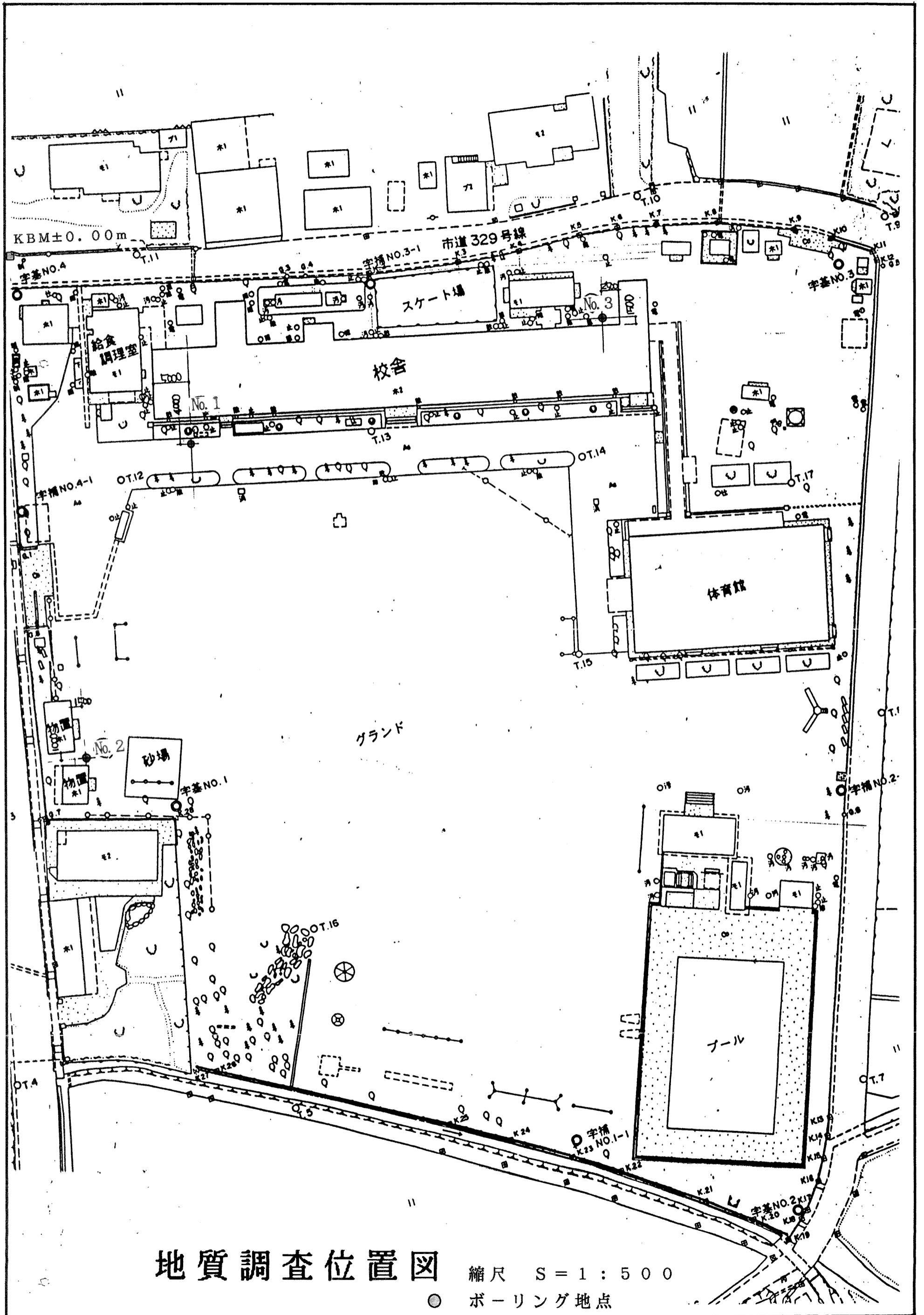


# 案内図



1:50,000 宇都宮

1000 m 0 1000 2000 3000



地質調査位置図 縮尺 S = 1 : 500  
 ● ボーリング地点

土質柱状図

調査名 平石中央小学校校舎改築工事地質調査 調査年月日 平成 年 月 日  
 調査位置 宇都宮市下平出479 ~ 平成 年 月 日  
 地点番号 NO.1 標高 KBM-0.553 m 機種 KR-100  
 総掘進長 10.45 m 孔内水位 GL -3.80 m 担当者名

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験				採取試料・原位試験											
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量	10cmごとの打撃回数			N値	試料番号	測定番号	深さ m	方法					
	-0.90	0.35	0.35	盛土	暗灰色		アスファルト, 碎石。															
1				有機質シルト	黒褐色		旧表土で植生根混る。下部砂分多い。	1.15	2/30	1/20	1											
2	-2.25	1.70	1.35	砂礫	暗黄灰~暗茶色		主体礫φ10~30mm, φ70~100mm点在。マトリックスは中粗砂主体。 4.00~4.90m間粗砂多い。 6.50mより暗茶植となり所々φ80~90mm位の礫密集する。	1.45														
								2.15	50/20	21	29											
3								2.35														
								3.15	43/30	19	11	13										
4								3.45														
								4.15	13/30	5	4	4										
5								4.45														
								5.15	50/15	21	29/5											
6								5.30														
								6.15	50/10	50												
7				6.25																		
				7.15	50/29	15	19	16/9														
8	-8.25	7.70	6.00	凝灰質砂礫	茶灰~黄褐色		主体礫φ10~30mm, マトリックスは中粗砂主体に粘土質混る。所々粘土挟む。	7.44	50/9	50/9												
								8.15														
9								8.24														
								9.15	33/30	13	11	9										
10	-10.05	10.39	2.69	凝灰岩	茶灰色		風化質である。	9.45														
								10.15	44/30	13	16	15										
				10.45																		

土質柱状図

調査名 平石中央小学校校舎改築工事地質調査 調査年月日 平成 年 月 日  
 調査位置 宇都宮市下平出479 ~ 平成 年 月 日  
 地点番号 NO.2 標高 KBM-0.617 m 機種 KR-100  
 総掘進長 10.37 m 孔内水位 GL -3.90 m 担当者名

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験				採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量	10cmごとの打撃回数			N値	試料番号	測定番号	深さ m
1	-1.22	0.60	0.60	盛土	黒褐色	有機質ローム土主体にφ20~100mmの礫をまれに混入する。	1.15	7/30	1	3	3					
	-2.12	1.50	0.90	砂質ローム	褐色	1.30mにφ30mm位の礫介在。下部に従い砂分多くなる。	1.45	40/30	8	14	18					
2	-2.52	1.90	0.40	礫混じり中砂粗砂	暗褐色	下部砂分多くなる。φ5~30mmの礫混入する。	2.45	37/30	15	11	11					
	3			砂礫	灰褐色	主体礫φ5~60mm, まれにφ80~90mm介在。マトリックスは中粗砂主体。所々砂分多い。含水小位。3.90mにて着水し以深含水高位。6.00~7.00m間暗灰色にて主体礫φ10~30mmで粗砂分多い。下部φ100mm内外の礫点あり。	2.15	33/30	9	13	11					
3.45							18/30	6	6	6						
4.15							31/30	10	8	13						
4.45							15/30	6	5	4						
5.15							40/30	12	16	12						
5.45							36/30	12	12	12						
6.15							9.45	13	30	7/2						
7	-7.77	7.15	5.25	凝灰質砂礫	茶灰色	上部7.80m付近まで含水多く緩い。以深含水中で所々少量透水する。主体礫φ10~30mm, 所々φ70~80mm介在。角礫の混入あり。マトリックスは中粗砂主体に粘土質含む。	7.15	50/22								
	8						凝灰岩	黄灰色	7.45	10.15	10.37					
8.15																
9	-10.42	9.80	2.65				8.45									
	-10.99	10.37	0.57													
10																

### 土質柱状図

調査名 平石中央小学校校舎改築工事地質調査 調査年月日 平成 年 月 日  
 調査位置 宇都宮市下平出479 ~ 平成 年 月 日  
 地点番号 NO.3 標高 KBM-0.395 m 機種 KR-100  
 総掘進長 10.45 m 孔内水位 GL -3.70 m 担当者名 \_\_\_\_\_

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録			標準貫入試験					採取試料・原位置試験									
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数/貫入量	10cmごとの打撃回数			N値	試料番号	測定番号	深さ m	方法				
										10 cm	20 cm	30 cm									
1	-1.09	0.70	0.70	有機質シルト	黒褐色	0.20mまで粗砂															
	-1.69	1.30	0.60	砂質シルト	黒茶色	φ20~30mm程度の礫混る。	1.15	$\frac{3}{30}$	$\frac{1}{20}$	2											
2				砂 礫	暗黄灰~暗茶色	主体礫10~30mm程度, 最大φ80~100mm点在。所々粗砂多い。 4.00m付近含水多くルーズ。	1.45	$\frac{50}{13}$	39	$\frac{11}{3}$											
							2.28	$\frac{50}{8}$	$\frac{50}{8}$												
								3.23													
								4.15	$\frac{12}{30}$	5	5	2									
								4.45													
								5.15	$\frac{29}{30}$	10	10	9									
								5.45													
6							6.15	$\frac{39}{30}$	16	11	12										
							6.45														
7							7.15	$\frac{26}{30}$	8	9	9										
							7.45	$\frac{50}{12}$	37	$\frac{13}{2}$											
8				凝灰質砂礫	茶灰色	φ10~30mm程度の礫多く, 所々φ80~90mm点在。	8.15														
							8.27														
9				凝灰質粘土	茶褐色	腐植物混る。	9.15	$\frac{7}{30}$	$\frac{1}{20}$	6											
							9.45	$\frac{7}{30}$	$\frac{1}{20}$	6											
10				凝灰質砂礫	黄褐色	φ10~30mm程度の礫主体, マトリックスは中砂粗砂で粘土混る。	10.15	$\frac{38}{30}$	10	13	15										
				凝灰岩	茶褐色	風化質である。	10.45														